

2011年1月20日

国土交通大臣 大島 章宏 殿

日本共産党島根県委員会
委員長 中林 隆
県議会議員 尾村 利成

山陰豪雪災害に関する緊急申し入れ(島根県)

年末から年始にかけて山陰両県をおそった記録的な大雪によって島根県東部では、ハウス倒壊などの農業被害が9億円を超え、漁船転覆や浸水は186隻、道路は各地で寸断され集落が孤立し、JR、バス路線は運休が相つぎました。年始の観光客は、どこも大幅に落ち込み、「松江フォーゲルパーク」は前年比で9割も入場客がダウンし、ホテル、旅館などの宿泊施設では、宿泊や宴会のキャンセルが続出しました。電話、電気、水道といったライフラインも寸断され被害が多発、孤立地区まで発生しました。

交通渋滞に関しては、鳥取の国道9号線の大渋滞が問題になりましたが、島根でも安来・松江間の9号線が大渋滞を起こし、「赤旗」輸送のトラックは、安来から松江まで来るのに通常の10倍の5時間もかかりました。山陰の唯一の幹線国道の除雪が遅れたことは国として反省が求められています。

また、今回の大雪にたいして、市町村合併が進み各支所機能が弱体化したことも、対応のおくれに拍車をかけました。

党調査団は、ただちに現場視察や被害状況の把握につとめ、水没漁船の漁業者からは「エンジンバッテリーの交換で60万円近くかかる。その上、船を引き上げるクレーン車のレンタル代は1日6万円。もう漁業は続けられない」、ハウス倒壊の生花栽培農家からは「より強いハウスにすると1棟150万円以上かかる。農業続けるには借金するしかない」などと悲鳴の声が寄せられました。

こうした状況をふまえ、以下の項目について要望します。

1. 国道9号線等の主要道路で長時間にわたって渋滞が発生しました。松江市内では9号線へ通じる県道・市道が除雪されたにもかかわらず9号線の除雪がおくれ交通混乱が発生するという箇所まで発生しました。初動の遅れ、連絡体制の不備が指摘されています。

緊急時の安心安全を確保するために必要な人員体制と連絡体制等について検証し、除雪などに必要な体制を確立すること。

2. 例年を大幅に上回る除雪費用に対する支援を行うこと。

- ① 県道、市町村道などの除雪費に対する補助。
- ② 除雪機材を購入する際の補助。

以上

2011年1月20日

総務大臣 片山 善博 殿
防災大臣 松本 龍 殿

日本共産党島根県委員会
委員長 中林 隆
県議会議員 尾村 利成

山陰豪雪災害に関する緊急申し入れ(島根県)

年末から年始にかけて山陰両県をおそった記録的な大雪によって島根県東部では、ハウス倒壊などの農業被害が9億円を超え、漁船転覆や浸水は186隻、道路は各地で寸断され集落が孤立し、JR、バス路線は運休が相つぎました。年始の観光客は、どこも大幅に落ち込み、「松江フォーゲルパーク」は前年比で9割も入場客がダウンし、ホテル、旅館などの宿泊施設では、宿泊や宴会のキャンセルが続出しました。電話、電気、水道といったライフラインも寸断され被害が多発、孤立地区まで発生しました。

交通渋滞に関しては、鳥取の国道9号線の大渋滞が問題になりましたが、島根でも安来・松江間の9号線が大渋滞を起こし、「赤旗」輸送のトラックは、安来から松江まで来るのに通常の10倍の5時間かかりました。山陰の唯一の幹線国道の除雪が遅れたことは国として反省が求められています。

また、今回の大雪にたいして、市町村合併が進み各支所機能が弱体化したことも、対応のおくれに拍車をかけました。

党調査団は、ただちに現場視察や被害状況の把握につとめ、水没漁船の漁業者からは「エンジンバッテリーの交換で60万円近くかかる。その上、船を引き上げるクレーン車のレンタル代は1日6万円。もう漁業は続けられない」、ハウス倒壊の生花栽培農家からは「より強いハウスにすると1棟150万円以上かかる。農業続けるには借金するしかない」などと悲鳴の声が寄せられました。

こうした状況をふまえ、以下の項目について要望します。

1. 激甚災害への指定基準の緩和、弾力的運用をおこなうこと。
2. 除雪費用に対する弾力的な財政支援をおこなうこと。
3. 島根県では7地区が孤立し、交通が寸断され停電、断水、食料不足など生活に大きな支障が生じました。合併によって支所機能が弱体化したことも混乱を大きくしました。こうした点をふまえ、災害時のへき地や高齢者を孤立させないシステムの構築を講じること。

以上

2011年1月20日

農林水産大臣 鹿野 道彦 殿

日本共産党島根県委員会

委員長 中林 隆

県議会議員 尾村 利成

山陰豪雪災害に関する緊急申し入れ(島根県)

年末から年始にかけて山陰両県をおそった記録的な大雪によって島根県東部では、ハウス倒壊などの農業被害が9億円を超え、漁船転覆や浸水は186隻、道路は各地で寸断され集落が孤立し、JR、バス路線は運休が相つぎました。年始の観光客は、どこも大幅に落ち込み、「松江フォーゲルパーク」は前年比で9割も入場客がダウンし、ホテル、旅館などの宿泊施設では、宿泊や宴会のキャンセルが続出しました。電話、電気、水道といったライフラインも寸断され被害が多発、孤立地区まで発生しました。

交通渋滞に関しては、鳥取の国道9号線の大渋滞が問題になりましたが、島根でも安来・松江間の9号線が大渋滞を起こし、「赤旗」輸送のトラックは、安来から松江まで来るのに通常の10倍の5時間もかかりました。山陰の唯一の幹線国道の除雪が遅れたことは国として反省が求められています。

また、今回の大雪にたいして、市町村合併が進み各支所機能が弱体化したことも、対応のおくれに拍車をかけました。

党調査団は、ただちに現場視察や被害状況の把握につとめ、水没漁船の漁業者からは「エンジンバッテリーの交換で60万円近くかかる。その上、船を引き上げるクレーン車のレンタル代は1日6万円。もう漁業は続けられない」、ハウス倒壊の生花栽培農家からは「より強いハウスにすると1棟150万円以上かかる。農業続けるには借金するしかない」などと悲鳴の声寄せられました。

こうした状況をふまえ、以下の項目について要望します。

1. 国としても、被害の全容把握を急ぐこと。
2. 多数の漁船が転覆・沈没・浸水するなど、甚大な被害を受けている漁業経営の再建にむけた支援を講じること。
3. ビニールハウスの倒壊、農作物の被災等、深刻な被害を受けた農業再建に必要な対策を講じること。

以上